

Acronis[®] Backup & Recovery[™] 10 Advanced Editions

クイック スタート ガイド

このドキュメントでは、Acronis Backup & Recovery 10 の以下のエディションをインストールして使用を開始する方法について説明します。

- Acronis Backup & Recovery 10 Advanced Server
- Acronis Backup & Recovery 10 Advanced Server SBS Edition
- Acronis Backup & Recovery 10 Advanced Workstation

1 主要コンポーネント

Acronis Backup & Recovery 10 には、次の主要コンポーネントが含まれています。

- **Acronis Backup & Recovery 10 エージェント for Windows:** データのバックアップおよび復元と、アーカイブのベリファイを行います。
- バックアップ ポリシーを使用したコンピュータ グループのバックアップなど、コンピュータの集中管理を行います。
- バックアップ計画やバックアップ ポリシーの設定などを行うために、エージェントや管理サーバーに接続して管理することができます。

2 ライセンス サーバー

エージェントを機能させるには、**Acronis ライセンス サーバー**も必要です。ライセンス サーバーは、ユーザーがアクロニスのライセンス ポリシーに準拠する支援を行います。ユーザーは、ライセンス サーバーのインストール時にライセンス キーをライセンス サーバーにインポートします。各エージェントはインストールされる時にライセンス キーを取得します。ライセンス サーバーは、エージェントが特定のコンピュータにインストールされたことを記憶します。その後、各エージェントは、自分のキーがライセンス サーバー上で有効かどうかを定期的にチェックします。

管理サーバーと管理コンソールの使用にライセンスは必要ありません。また、管理コンソールをインストールするコンピュータの数に制限はありません。

Acronis Backup Recovery 10 試用版にライセンス サーバーは必要ありません。試用版をインストールする際には、ライセンス サーバーのライセンス キーの代わりに試用版のライセンス キーを指定します。試用版のライセンス キーは Acronis Web サイトで入手できます。

3 サポートされるオペレーティング システム

3.1 エージェント

ライセンス キーには製品のエディションに関する情報が含まれています。エディションに応じて、以下の表に示すオペレーティング システムにエージェントをインストールできます。

オペレーティング システム	Acronis Backup & Recovery 10 のエディション		
	Advanced Workstation	Advanced Server	Advanced Server SBS Edition
Microsoft Windows 2000 Professional SP4/XP Professional SP2 以降	はい	はい	いいえ
Microsoft Windows SBS 2003/SBS 2008	いいえ	はい	はい
Microsoft Windows 2000 Server/ 2000 Advanced Server/ Server 2003/ Server 2008	いいえ	はい	いいえ
Microsoft Windows XP Professional x64 Edition、Windows Server 2003/2008 x64 Edition	はい	はい	いいえ
Microsoft Windows Vista - Vista Home Basic および Vista Home Premium を除くすべてのエディション	はい	はい	いいえ
Microsoft Windows Vista Home Basic および Home Premium	はい	いいえ	いいえ
Microsoft Windows 7 - Starter および Home を除くすべてのエディション	はい	はい	いいえ
Microsoft Windows 7 Starter および Home エディション	はい	いいえ	いいえ

3.2 ライセンス サーバー、管理サーバー、および管理コンソール

ライセンス サーバー、管理サーバー、および管理コンソールはエディションの種類にかかわらず、以下のオペレーティング システムを実行するコンピュータにインストールできます。

- Microsoft Windows Professional 2000 SP4/XP Professional SP2 以降
- Microsoft Windows 2000 Server/2000 Advanced Server/Server 2003/SBS 2003/SBS 2008/Server 2008
- Microsoft Windows XP Professional x64 Edition、Windows Server 2003/2008 x64 Edition
- Microsoft Windows Vista - Vista Home Basic および Vista Home Premium を除くすべてのエディション
- Microsoft Windows 7 - Starter および Home を除くすべてのエディション

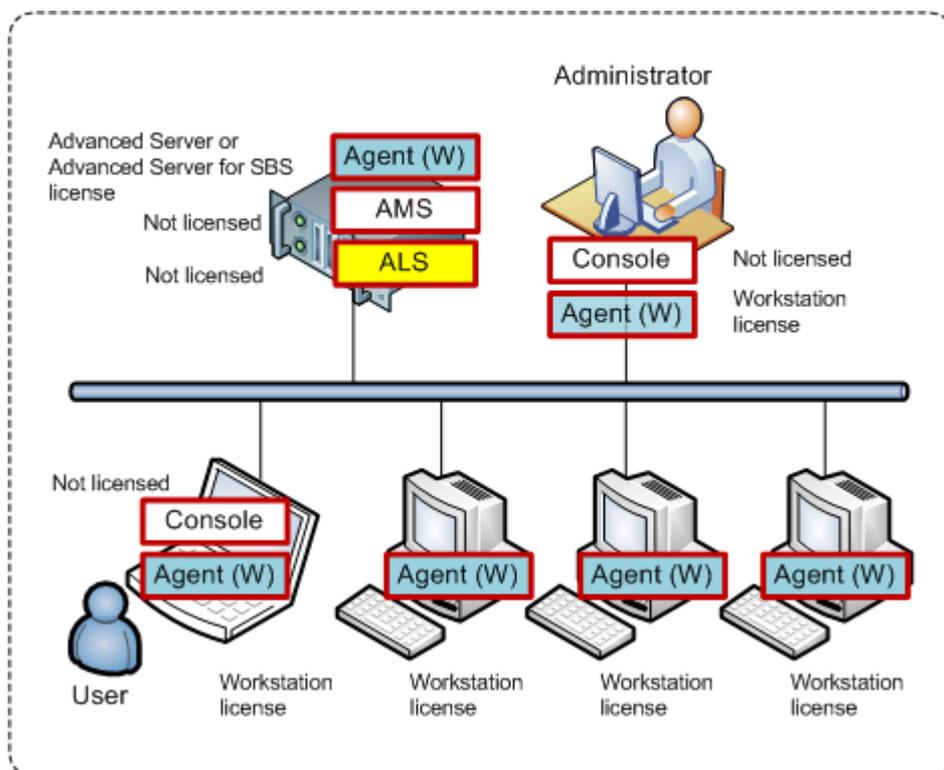
4 コンポーネントのインストール先

会社のネットワークが、Windows を実行する 1 台のサーバーと 5 台のワークステーションで構成されているとします。すべてのコンピュータは管理者によってバックアップされます。また、1 人のユーザーは自分のコンピュータのバックアップを管理できる必要があります。すべてのコンピュータを保護するためには、次のライセンスが必要です。

- Acronis Backup & Recovery 10 Advanced Workstation のライセンス 5 個
- サーバーで実行されているオペレーティング システムに応じて、Acronis Backup & Recovery 10 Advanced Server または Advanced Server SBS Edition のライセンス 1 個

エージェントはバックアップ対象のすべてのコンピュータにインストールする必要があります。ライセンス サーバーと同様に、管理サーバーは任意のコンピュータにインストールできます。このコンピュータは、継続的なサービスの提供が可能で、バックアップ対象のコンピュータにネットワーク接続できる必要があります。エージェントと管理サーバーに GUI を提供する管理コンソールは、バックアップの設定と監視を行うコンピュータにインストールする必要があります。

以下にコンポーネントの配置例を示します。各コンポーネントのインストールに必要なライセンスがコメントで示されています。Acronis ライセンス サーバーを使用すると、ライセンス キーをそれぞれのコンピュータで入力する必要がなくなります。ライセンス サーバーにすべてのキーをインポートし、エージェントのインストール時にライセンス サーバーのアドレスを指定するだけで済みます。



Acronis Backup & Recovery 10 コンポーネントの配置例

各コンピュータにインストールするコンポーネントを決定したら、順番に各コンピュータ上でセットアップ プログラムを実行します。1 回のインストール手順で複数の Acronis Backup & Recovery 10

コンポーネントをインストールするように選択できます。Acronis ライセンス サーバーだけは単独でインストールする必要があります。

5 開始するために必要なもの

次のものが揃っていることを確認してください。

- 512MB 以上の物理メモリを実装した、Windows を実行する 1 台以上のコンピュータ。
- 使用するエディションのライセンス キーのリスト(TXT または EML ファイル)。テキストの形式は 1 行につき 1 つのキーです。
- セットアップ プログラムは アクロニスのウェブ サイトからダウンロードできます。
<http://www.acronis.co.jp/enterprise/download/>

6 詳細な手順

ここでは、本製品のインストールと基本的な使用方法の手順を示します。以下の項目について説明します。

- 管理サーバー、管理コンソール、およびライセンス サーバーをインストールする
- 1 台以上のコンピュータにエージェントをインストールする
- バックアップ計画を使用して、個別のコンピュータをバックアップする
- バックアップ ポリシーを使用して、複数のコンピュータを集中管理によってバックアップする
- ディスク バックアップからファイルを復元する

これらのガイドラインは、前述の第 4 章で説明したシナリオを表したものではありません。すべてのシナリオで使用できる共通のインストール手順を示しています。

前提条件

これらのガイドラインは、以下を前提としています。

- Acronis ライセンス サーバーがインストールされていない
- 管理サーバーをインストールするコンピュータに Microsoft SQL Server がインストールされていない

6.1 インストール

この手順では、ライセンス サーバーと Acronis Backup & Recovery 10 の主要コンポーネントをインストールします。

ライセンス サーバーのインストール

試用版をインストールする場合は、この手順をスキップしてください。製品版をインストールする場合は、バックアップ対象のコンピュータにネットワーク接続している任意のコンピュータ上で以下の手順を実行します。

1. セットアップ プログラムを開始します。
2. **[Acronis ライセンス サーバーのインストール]**をクリックします。
3. **[次へ]**をクリックします。
4. 使用許諾契約の内容に同意します。
5. 入力を求められたら、ライセンス キーのリストを含むファイル指定します。
詳細 -追加のライセンス キーは、キーを含むファイルを指定するか、キーを手動で入力することによって、後からいつでもインポートできます。
6. **[インストール先:]**と**[インストール対象:]**にはデフォルト値を使用します。
7. インストールを続けます。
8. インストールが正常に終了したら、ウィザードのウィンドウを閉じます。

管理サーバーと管理コンソールのインストール

以下の手順は、バックアップ対象のコンピュータにネットワーク接続している任意のコンピュータ上で行います。

1. セットアップ プログラムを開始します(同じコンピュータ上でインストールを続けている場合は、この手順をスキップしてください)。
2. 試用版をインストールする場合は、**[Acronis Backup & Recovery 10 試用版のインストール]**をクリックします。製品版をインストールする場合は、**[Acronis Backup & Recovery 10 のインストール]**をクリックします。
3. **[次へ]**をクリックします。
4. 使用許諾契約の内容に同意します。
5. 試用版をインストールする場合は、試用版のライセンス キーを入力します。
製品版をインストールする場合は、ライセンス サーバーがインストールされているコンピュータの名前または IP アドレスを指定します(ライセンス サーバーが現在のコンピュータ以外にインストールされている場合。ライセンス サーバーが現在のコンピュータにインストールされている場合は、サーバー名が既に設定されていますが、変更することもできます)。
詳細 - 管理サーバーや管理コンソールがライセンス サーバーからライセンス キーを取得することはありません。
6. ライセンス サーバー上に異なるエディションのライセンスが存在する場合は、インストールするエディションを選択します。
7. **[集中管理用のコンポーネントをインストールする]**をクリックします。
8. コンポーネントの一覧で、**[管理サーバー]**と**[管理コンソール]**をオンにし、その他のコンポーネントをオフにします。
9. **[インストール先:]**にはデフォルト値を使用します。
10. 管理サーバーのサービスのログイン情報の入力を求められたら、デフォルトの選択(**[新しいアカウントを作成する]**)のままにします。
詳細 -- このアカウントは管理サーバーのサービスを実行するために必要です。
11. Microsoft Windows ファイアウォールでポートが開かれていることを確認します。
12. 管理サーバーが使用する Microsoft SQL Server に関する項目の入力を求められたら、デフォルト設定のままにします。
13. インストールを続けます。
14. インストールが正常に終了したら、ウィザードのウィンドウを閉じます。

エージェントのインストール

バックアップ対象の各コンピュータで以下の手順を実行します。

1. セットアップ プログラムを開始します(同じコンピュータ上でインストールを続けている場合は、この手順をスキップしてください)。
2. 試用版をインストールする場合は、**[Acronis Backup & Recovery 10 試用版のインストール]**をクリックします。製品版をインストールする場合は、**[Acronis Backup & Recovery 10 のインストール]**をクリックします。
3. **[次へ]**をクリックします。
4. 使用許諾契約の内容に同意します。
5. 試用版をインストールする場合は、試用版のライセンス キーを入力します。
製品版をインストールする場合は、ライセンス サーバーがインストールされているコンピュータの名前または IP アドレスを指定します(ライセンス サーバーが現在のコンピュータ以外にインストールされている場合。ライセンス サーバーが現在のコンピュータにインストールされている場合は、サーバー名が既に設定されていますが、変更することもできます)。

詳細 各エージェントはライセンス サーバーに提供されたリストからライセンスを 1 つ使用します。

6. ライセンス サーバー上に異なるエディションのライセンスが存在する場合は、インストールするエディションを選択します。
7. 現在のコンピュータに管理コンソールまたは管理サーバーがインストールされている場合、[変更]をクリックして、既に選択されている管理サーバーと管理コンソールの他に、[エージェント for Windows]と[ブータブル コンポーネントおよびメディア ビルダ]を選択します。
これらのどのコンポーネントもインストールされていなければ、[管理対象コンピュータ用のコンポーネントをインストールする]をクリックします。[エージェント for Windows]とその機能および、[ブータブル コンポーネントおよびメディア ビルダ]とその機能を含むデフォルトの選択はそのままにします。一部の機能がグレー表示されている場合があります。これは、これらの機能に対するライセンスがライセンス サーバー上に存在しないことを意味します。
8. [インストール先:]にはデフォルト値を使用します。
9. エージェントのサービスのログイン情報の入力を求められたら、デフォルトの選択([新しいアカウントを作成する])のままにします。

詳細 -- このアカウントはエージェントのサービスを実行するために必要です。

10. Microsoft Windows ファイアウォールでポートが開かれていることを確認します。
11. [指定したコンピュータにインストールされた管理サーバーに登録する]を選択し、以下を指定します。
 - 管理サーバーの名前または IP アドレス(管理サーバーが現在のコンピュータ以外にインストールされている場合。管理サーバーが現在のコンピュータにインストールされている場合、サーバー名は既に設定されていて変更できません)
 - 管理サーバーがインストールされているコンピュータの管理者のユーザー名とパスワード
- 詳細** セットアップ プログラムは自動的にコンピュータを管理サーバーに登録します。これにより、バックアップ ポリシーなどを使用して、このコンピュータを集中管理できます。管理サーバーをエージェントと同一のコンピュータにインストールする場合でも、この登録は行われます。または、後でコンピュータの名前または IP アドレスを使用して、コンピュータを管理サーバーに追加することもできます。
12. Acronis Remote Users グループのメンバについて入力を求められたら、デフォルト設定のままにします。デフォルト設定では、Administrators グループのすべてのメンバはこのコンピュータをリモートから管理できます。
13. インストールを続けます。

6.2 Acronis Backup & Recovery 10 の開始

本製品の使用を開始するには、管理コンソールを起動します。[スタート] メニューから、[Acronis] [Acronis Backup & Recovery 10 管理コンソール] [Acronis Backup & Recovery 10] を選択します。

管理コンソールから管理サーバーに接続する手順は、次のとおりです。

1. [管理サーバーへの接続]をクリックします。
2. サーバーの名前または IP アドレスを入力します。
3. ログイン情報の入力を求められた場合は、ユーザー名とパスワードを指定します。このユーザーは、サーバー上の Acronis Remote Users および Acronis Centralized Admins グループのメンバである必要があります。

6.3 個々のコンピュータのバックアップ

この手順では、個々のコンピュータ上のフォルダをバックアップします。これは簡単な操作です。同様の手順を使用して、コンピュータのボリュームやコンピュータ全体をバックアップできます。

1. 管理コンソールを管理サーバーに接続します。
2. [ようこそ]画面で、[バックアップ]をクリックします。
3. [バックアップするコンピュータの選択]ウィンドウで、バックアップするコンピュータを選択して、[OK]をクリックします。
詳細 -- [バックアップ計画の作成]ビューが表示されます。画面のタイトルバーにコンピュータ名が表示されるため、操作中のコンピュータがわかります。
4. [バックアップの対象]の下の[ソースの種類]で、[ファイル]を選択します。
5. [バックアップする項目]で[変更]をクリックします。バックアップするフォルダを選択します(例: Program Files)。
6. [バックアップの保存先]で[変更]をクリックします。アーカイブを保存するネットワーク共有フォルダのパスを[パス]に入力します。または、このフォルダをフォルダ ツリーから選択することもできます。指定したフォルダへのアクセス ログイン情報を指定します。
7. [OK]をクリックしてバックアップ計画を作成します。すぐにバックアップが開始されます。
詳細 -- バックアップ中のコンピュータがあらかじめ選択された状態で[すべての物理コンピュータ]ビューが表示されます。[情報]ペインには、バックアップ計画の実行状態(バックアップタスクの進行状況を表示するには、[情報]ペインでバックアップ計画を展開します)。

6.4 バックアップ ポリシーを使用したボリュームのバックアップ

この手順では、コンピュータ上のボリュームに割り当てられているドライブ文字にかかわらず、管理サーバーに登録されているすべてのコンピュータのシステム ボリュームをバックアップするためのバックアップ計画を作成して実行します。

1. 管理コンソールを管理サーバーに接続します。
2. [ナビゲーション]ツリーで、[バックアップ ポリシー]を右クリックし、[バックアップ ポリシーの作成]をクリックします。
3. [バックアップの対象]の[バックアップする項目の選択ルール]は、デフォルトで選択されているディスク/ボリューム
詳細- システム ボリュームには Windows の起動に必要なファイルが含まれています。この[SYSTEM]選択ルールは、コンピュータ上に割り当てられているドライブ文字にかかわらず、システム ボリュームをバックアップすることを意味します。この同じポリシーには、D:や
4. [バックアップの保存先]で[変更]をクリックします。[すべてのコンピュータのアーカイブを 1 つの場所に保存する]を選択します。アーカイブを保存するネットワーク共有フォルダのパスを[パス]に入力します。または、このフォルダをフォルダ ツリーから選択することもできます。指定したフォルダへのアクセス ログイン情報を指定します。
5. [OK]をクリックしてポリシーを作成します。作成したポリシーが[バックアップ ポリシー]ビューに表示されます。
6. ポリシーを右クリックして、[適用]をクリックします。
7. [コンピュータの選択]ウィンドウで、[すべての物理コンピュータ]チェックボックスをオンにし、[OK]をクリックしてポリシーを配置します。

結果- 登録されている各コンピュータに対して、ポリシーにより直ちにシステム ボリュームのバックアップが行われ、指定されたネットワーク共有にアーカイブが保存されます。

6.5 ボリューム バックアップからのファイルの復元

この手順では、以前に作成したボリューム バックアップからファイルやフォルダを復元します。同様の手順を使用して、ディスクやボリュームのバックアップからボリューム全体を復元できます。

1. 管理コンソールを管理サーバーに接続します。
2. [ナビゲーション]ペインで、[すべての物理コンピュータ]をクリックし、データの復元先のコンピュータを選択します。
3. コンピュータを右クリックして、コンテキスト メニューで[復元]を選択します。
4. [復元元]の下の[アーカイブ]で、[変更]をクリックし、アーカイブのパスを指定します。
5. [データの種類]で[ファイル]を選択します。
6. [内容]で[変更]をクリックし、バックアップの内容を参照して、復元するファイルやフォルダを選択します。
7. [復元先]の下の[保存先]で、[変更]をクリックします。[新しい場所]を選択して、ファイルの復元先のフォルダを指定します。または、このフォルダをフォルダ ツリーから選択することもできます。
ヒント- デフォルトでは、ファイルはバックアップ元の場所に復元されます。オペレーティング システムによってロックされているファイルがあると、再起動が必要になることがあります。
8. [OK]をクリックして直ちに復元を開始します。

7 次に読むもの

『クイック スタート ガイド』は、製品の使用方法の例を示し、すぐに「実地テスト」を行うことができるようにすることを目的としています。Acronis Backup & Recovery 10 の使用の詳細については、『ユーザー ガイド』およびヘルプをご参照ください。

- 管理コンソールからは、[F1]キーを押すか、疑問符のボタン（利用可能な場合）をクリックして、状況依存ヘルプ システムにアクセスできます。
- 「**基本的な概念**」をお読みになり、Acronis Backup & Recovery 10 のグラフィック ユーザー インターフェイスで使用されている基本概念について確実に理解してください。
- 製品の用途に関する広範な概要については、「はじめに」ヘルプ ページをご参照ください。
- 格納域、クリーンアップ、ストレージ ノードなど、意味のわからない用語が出てきた場合は、「用語集」をご参照ください。
- インストールする各コンポーネントの用途について理解するには、「**Acronis Backup & Recovery 10 コンポーネント**」をご参照ください。
- 高度な集中管理の包括的な例については、「**異種ネットワーク内での集中データ保護の設定**」をご参照ください。
- 「**Acronis Backup & Recovery 10 について**」には、GFS バックアップ スキーム、ハノイの塔バックアップ スキーム、ポリシー ベースの管理、データの重複除外など、基礎となるテクノロジーに関する説明が含まれています。